

横地分類

「移動機能」、「知的発達」、「特記事項」の3項目で分類し、以下のように表記する。

例：A1-C, B2, D2-U, B5-B, C4-D

〈知的発達〉						
E6	E5	E4	E3	E2	E1	簡単な計算可
D6	D5	D4	D3	D2	D1	簡単な文字・数字の理解可
C6	C5	C4	C3	C2	C1	簡単な色・数の理解可
B6	B5	B4	B3	B2	B1	簡単な言語理解可
A6	A5	A4	A3	A2	A1	言語理解不可
戸 室 室 座 寝 寝						
外 内 内 位 返 返						
歩 歩 移 保 可 可						
行 行 動 持 不 不						
可 可 可 可 可 可						
(移動機能)						
〈特記事項〉						
C: 有意な眼瞼運動なし						
B: 盲						
D: 難聴						
U: 両上肢機能全廃						
TLS: 完全閉じ込め状態						

当てはまるでしょう。乳児が一番聴き耳を立てるのは、母の発する声でしよう。次は、母が自分のためにする行為に伴う音でしよう。母の移動(足音、衣擦れなど)、食事準備、着替え・おむつ替え準備などの音です。生活音では、素朴概念習得につながる音に惹かれるはずで、ぶつかる、転がる、落ちる、くつつくなどの音です。

でも、ヒトは生まれつき特定のリズム・メロディを好むようにできていると私は思いますが。こうした歌を母は自然と口ずさんでいるはずで、日本の童謡、英米のマザーグースにはこうした共通のモノがあるのではないのでしょうか。それは大人になっても一定の価値を持っていくそうです。落ち着くのと明るくなるのが混ざったような感じを抱かせるモノだと私は考えています。有意な言語理解のない重症心身障害児者は何を聴いているかについても、以上述べた

乳児と基本的には同じだと私は考えます。保護者である人の発する音や声、自身の生活に関する音や声、素朴概念習得につながる生活音、落ち着き明るい気持ちにさせる非言語的リズム・メロディがその人の聴こうとしているモノでしょう。

あさひの

日常生活

西澤 千恵子

Aさん(横地分類A1)は、スリットドラムを叩くバチの動きをじつと見ながら音を聞きます。音を伴った動きに興味があるようです。また、砂鉄が入った盤を傾けた時は、ゆっくり流れ落ちていく砂鉄の動きをよく見ていました。バチが規則的に上下する動きや砂鉄がゆっくり流れていく不規則な動きに興味を持って見ていました。ゆっくり上から下に揺れながら落ちていくものの動きを見る活動を行いました。水を入れたペットボトルの中に数個のおはじきを落とすと、ゆっくり落ちながら散らばっていくおはじきの動きをよく見ていました。全部沈んで動きが無くなるまでとペットボトルの上に残っているおはじきへとさっ



と視線を向けました。再び数1個の動きに注目し、真剣な表情でじつと集中して見ていました。注目していた1つのおはじきの動きがなくなると、まだ水の中で揺れている他のおはじきに視線を向けました。全部沈み動きがなくなると職員の方を見て笑顔になりました。まとまって水の中に入ったおはじきが広がり、ゆっくり揺れながら沈んでいく動きに面白みを感じているようでした。

Bさん(横地分類A1)は、近くにいる利用者の所で歌にかけている「ウンパッパ」をじつと聞いていました。「きみとぼくとはもだちさ〜」の後で一呼吸の間が空き、その後「ウンパッパ・ウンパッパ」と弾むようなリズムが始まると、笑顔で声を出していました。さらにリズムを取る



ような擬音が続くと目や手の動きを止めてじつと聞いていました。同じリズムの繰り返しその後にある変化や、擬音がリズムカルに入る歌いかけに興味があるようです。「山のごちそう」を歌いかけました。「静かな山小屋の」と前半の細かく音程が上下するメロディー部分は、職員の顔を見たり視線を動かしたりしながら聞いています。「ホールディーアー」と伸びるようなリズムが変わると、ぐっと目を大きく開け、さらに聞き入っていました。その後、サビの「ホールディーヒヤホールディーク」と弾むようなリズムが変わると表情が緩みました。1音1音が伸びるようなリズムからサビに向かって徐々に盛り上がりつついく曲調が良かったようです。繰り返し歌いかけると、伸びるようなリズムの所で少し体